

事業コード	H29-建-継-13		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	総合流域防災事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・ダム・海岸班(tel:018-860-2514)
路線名等	一級河川 福士川		担当課長名	河川砂防課長 小野久喜
箇所名	鹿角市花輪字下夕町		担当者名	副主幹(兼)班長 鳴海 勝哉
プランとの関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	H14 ~ H48 (35年)	総事業費	31.3 億円	国庫補助率	50	
事業規模	計画延長L=1, 258m 計画高水流量Q=100m ³ /s (1/10)					
事業の立案に至る背景	福士川は、鹿角市の中心である花輪の市街地を横断している1級河川である。福士川は勾配が急かつ河床が堤内地より高くなっており、昭和38、50、55年に水害を受けている。これを機に抜本的な治水事業として、昭和60年より米代川への放水路計画に着手し、当該事業は平成12年に完成している。しかし、治水上の最重要区間である市街地の改修は始まったばかりであることから、地元より強い要望と協力を受け第Ⅱ期工事として整備を行っている。					
事業目的	一般資産に対して大きな被害を与えた洪水は昭和38年洪水であるが、その後も洪水氾濫を生じないまでも、河道満杯まで増水することがたびたび発生している。花輪地区中心部が浸水した場合は人命や財産に甚大な被害が生じるため、河川改修事業により河川断面不足の解消及び法線等の是正を図り、県土の保全と防災力の強化を図る。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
事業費内訳	事業費	3,128,000	3,128,000	0		
	経費内訳	工事費	1,022,900	1,022,900	0	
		用補費	1,754,300	1,754,300	0	
		その他	350,800	350,800	0	
	財源内訳	国庫補助	1,564,000	1,564,000	0	
		県債	1,407,600	1,407,600	0	
		その他	0	0	0	
一般財源	156,400	156,400	0			
事業内容	築堤、河道掘削、護岸、橋梁等	築堤、河道掘削、護岸、橋梁等				
事業の進捗状況	全体計画 平成28年度末投資額 進捗率	31.3億円 14.6億円 46.7%				
事業推進上の課題	特になし。					
関連する計画等	第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境を整備するために県が継続的に取り組むべき基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	当該区間は河川沿いに住宅が密集しており、浸水被害は家屋浸水が中心であり、地元からは早期完成を望まれている。しかし、個別の用地・家屋補償に時間を要している。(移転先や時期)					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川改修済み延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	47.2%		データ等の出典	河川砂防課	
	実績値 b	47.1%		把握の時期	平成29年3月	
達成率 b/a	99.8%					

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	福士川の特徴として、川幅が狭くかつ急勾配、屈曲（洪水時の河川水の勢いが激しく氾濫しやすい）していることから、過去には浸水面積118ha、浸水家屋210戸という水害が発生しており、早期の完成が望まれている。	30点
緊 急 性	河川未改修区間については、特に流下能力が低く、川幅も狭小且つ天井河川であるため洪水発生危険度が高い。	12点
有 効 性	河川改修を実施することにより、所定の流下能力の確保と治水安全度の向上が見込まれるため有効性が高い。	15点
効 率 性	費用便益比は7.12であり事業の効率性は高い。 既設護岸等の再資源化や発生土の他工区流用、再生骨材の使用や排水樋管の統廃合により、事業の促進に努めている。	15点
熟 度	関係機関等とも施設の必要性について合意形成がなされており、また地域住民も河川改修の早期完成を望まれている。	18点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	90点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき。	
総合評価	●継続 ○改善して継続 ○見直し ○中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (H29-建-継-13)
箇所名 (富士川 鹿角市花輪字下夕町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況			25		
	浸水戸数	50戸以上	10	10	175戸	
		49～10戸	7			
		10戸未満	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	220ha	
		59～10ha	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	秋田県鹿角地域振興局 鹿角市役所 花輪支所 鹿角市文化の社交館(コミュ) 鹿角中央病院 等	
		2～1施設	3			
		なし	0			
	整備計画の策定				5	
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	鹿角圏域 河川整備計画(H15)	
協議中であるが特段問題ない		3				
策定に着手していないが予定がある		1				
予定なし		0				
計			30	30		
緊急性	災害発生の危険度			7		
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	7	現況流下能力48.9m ³ /s 目標100.0m ³ /s (48.9%)	
		40～59%	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画				5	
重要水防地域	評定基準区分A	5	5			
	評定基準区分B	3				
計			15	12		
有効性	河川整備の有効性			15		
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5		
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	鹿角市都市計画区域内	
地域開発の計画がある		1				
予定なし		0				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果			5		
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=7.12	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減				5	
	該当項目数	3項目以上	5	5	護岸形式の変更 発生材の再資源化 発生土の他工区流用 再生骨材の使用	
		2項目	3			
		1項目	1			
		なし	0			
	当初計画との比較				5	
	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5	増減なし	
10%以上30%未満の増加		3				
30%以上の増加		0				
計			15	15		
熟度	地元との合意形成の状況			8		
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	要望あり	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	3	事業推進に合意している	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況				5	
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	5	46.7% (1,461百万円/3,128百万円)	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況				5		
環境保全への配慮	システムでの環境配慮事項が3事項以上	5	5	発生土の流用 景観ブロック等の採用 再生砕石の利用		
	システムでの環境配慮事項が1～2事項	3				
	システムでの環境配慮事項がない	0				
計			25	18		
合計			100	90		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		